

夢、私たちに。 わたしのひとこと



「今日は」から

飯森 上遠野 盛安

「白馬もきれいですね。」は、ヒマラヤの山々の景色に絶句している私に、案内のダヌーさんが話しかけてくれた言葉です。

はじめて白馬に来たときは、自然の美しさに驚きましたが、時間が過ぎるにつれ感動がうすらぎ、地元の財産に気づかなくなったのです。ほかの人から言われて気づかされています。

素晴らしい「青鬼」のお祭りに参加出来ました。少人数ながら伝統を後生に伝えようと奮闘する姿は、杉の合間から見た華麗な花火と共に忘れられません。このような白馬の底力に気づき、多くの人に伝えていきたいです。

所どころで出会った人々に私は、「今日は」と声をかけ、白馬の良さを紹介して「お出掛けください。」を最後に伝えるよう心掛けています。



おいしい野菜づくり

白馬町 松沢 正猛

農協で園芸の技術員をしていましたが、定年退職後は野菜作りに取り組んできました。栽培期間の短い白馬の気候ですが、おいしい野菜を作るコツがありますので紹介します。

白馬の気候は、日本海側に近いことが多く、6月と9月の雨量が多いのが特徴です。水が大好きなアスパラには最適ですが、雨に弱いトマトには簡単な雨除けが必要です。

また、白馬の夏は昼夜の温度差が大きく、この差が大きいほど甘味が増すので、最高の品質の野菜が収穫できます。

栄養価の高い野菜を作るには、畑の準備も大切です。

一般に畑化成と呼ばれる化学肥料にはミネラル分が少なく、それは有機資材にしか含まれていません。堆肥・腐葉土・ケイフン等を畑に入れ、栄養豊富な野菜を作りましょう。



人との縁

落倉 前堀 博史

奈良から白馬に来てもう30年近くになります。雪の多さに悪戦苦闘しながら、育てた子ども達も大きくなって今では孫と暮らしています。思えば誰も知り合いのいないこの地で、子ども達がスキー競技を始めた事がきっかけで、地元の方々とも親しくなりました。ペンションを経営しながら趣味で始めたパラグライダーをスクールとして開校する時にも、多くの皆様の協力を頂き本当に感謝しています。また最近は、イベント等でご挨拶に伺うと、子ども達と共にスキー競技をしていた仲間だったり、本当に人の縁というものをを感じる日々です。私が子どもの頃、親から人に感謝する事は決して忘れてはいけないと教えられた事を思い出します。この方とのご縁が無ければ自分の人生変わっているよなぁ等と思いながら、これからどんなご縁があるのか人生楽しみたいと思います。

編集後記

毎朝、楽しんでいた『あまちゃん』も終わりました。メディアがいろんな角度から魅力を取り上げ、世間の話題を集めました。うらおもてのない会話、何事にも一生懸命に突き進む真剣な姿に、共感を覚えたのではないのでしょうか。

村内の話題は「下水道問題に対する賠償の内容」。共感できず、あちこちで異論・反論を聞きます。賠償額の大小と役割と責任のアンバランス。

議会も問題点の指摘、再発防止の提案と同時に、行政へのチェック力の強化など『もっととしっかりやれ!』との声が聞こえてきます。

(加藤 亮輔 記)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 横田 孝穂 |
| 委員長 | 太田 伸子 |
| 副委員長 | 加藤 亮輔 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 松本喜美人 |
| 委員 | 伊藤まゆみ |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 北澤禎二郎 |